



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.4 令和7年6月30日発行

プラス思考で伝える

校長 廣 瀬 巧

今年の運動会は、天気心配も全くなく、無事に終了することができました。ほっとしました。とかく天気が悪いと校長の精進が足りないとか新しく来た職員の行いがどうかと言われるものです（もちろん冗談だと理解しています）。

当日は、早朝よりたくさんの方にお越しいただき感謝申し上げます。天気はさておき、子ども達の元気な姿をご覧いただけたことが何よりありがたく思いますし、できれば子ども達の素敵な姿が印象深く残ってもらいたいと願っていました。「勝ち負け関係なく」と言われてもいざ勝負となるとやっぱり勝ちたくなるものです。じゃんけんだって負けるよりも勝った方がうれしいです。子ども達のそうした思いは、競技に臨む姿や応援の姿によく現れていました。表現では努力の成果も現れていました。ご観覧された皆様にもそれをたくさん感じていただけたことと思います。また、たくさんのご声援、温かい拍手は、子ども達にとってもよい経験となりました。ありがとうございました。

大きな行事を通して、また少し子どもは成長しました。1年生もすっかり学校に馴染んで楽しそうに生活しています。6年生は修学旅行を通して充実感とともにさらに大人に近づくことでしょう。これから夏休みまでの間は、学習も充実していくことになります。それぞれの学年で毎日を充実させて成長を続けていけるよう私も支えて参りたいと考えています。ご家庭でも、成長の一端を感じられたら、それをお子様伝えながら、成長を見守っていただきたいと思います。そのための手法を一つご紹介します。

「黒字ノート」という手法があります。この手法は、問題よりも「うまくいっていること」や「できたこと」に目を向けるための方法です。やり方は簡単で、

- ① ノートを用意する（日記帳やメモ帳、スマホのメモなど自由）
- ② 毎日1日1回黒字を書く。以下のようなことを書きます。1つでよい。
○今日、うまくいったこと ○自分が努力したこと ○小さな成功や進歩
○感謝できたこと ○他人に親切にできたこと など
「なぜそれがよかったのか」「どう感じたか」「何が変わったか」なども添えると効果的。
- ③ 継続する

③がなかなか難しいのですが、「自分にもできることがある」と実感しやすくなる、「うまくいっていること」に気づける、ネガティブな思考のループから抜けやすくなるなどの効果が実感できます。

会計帳簿では、黒字はプラスということで、前向きなことを書き留めるから黒字ノートと言われているそうです。もともとは、自分を見つめるためのものですが、例えば、親が子どもについての黒字を書き、子どもに伝えることで、子どものプラス思考を高める効果もあります。書く内容は、難しいことでなくても構いません。また、書き留めるのが大変なら気づいたことを直接伝えても構いません。「今日は自分から宿題を始めていた。集中していて偉い」「弟におもちゃを貸してあげていた。とても優しいなと思った」「朝起きるのに時間はかかったけど、自分で着替えていた」「お手伝いしようかって言ってくれた。嬉しかった」など、多少のマイナス面があってもプラスの側面を伝えることができればよいのです。

大人として、子どもにはこうなってほしいのにできていないという思考になりがちなところをプラス思考にしていこうという考え方です。私も苦手なのですが、極力そうありたいと思っています。お家の方はいかがでしょうか。

日	曜	7月の主な行事
1	火	短縮日課
2	水	朝の読み聞かせ 委員会⑤
3	木	短縮日課 スクールカウンセラー来校
4	金	短縮日課 港まつり市中パレード（3～6年生参加）
5	土	
6	日	
7	月	講話朝会③ チャレンジテス週間～11日 学校評価
8	火	短縮日課 浄水場見学（4年）
9	水	地引網体験学習（4年）
10	木	短縮日課 参観日（全学年）
11	金	短縮日課
12	土	
13	日	
14	月	児童朝会②（代表委員会）特支町内合同学習会（厚岸小）大掃除週間～24日
15	火	短縮日課 水泳教室（3・6年）夏休み図書貸出（中）
16	水	水泳教室（5・2年）放課後学習夏休み図書貸出（低）
17	木	短縮日課 4年終末処理場見学夏休み図書貸出（高）
18	金	短縮日課 水泳教室（6・1年）
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	短縮日課 交通安全指導日
23	水	水泳教室（4・3年）
24	木	短縮日課 朝読書回収日
25	金	通常日課 講話朝会前期第1ステージ終了
26	土	夏季休業開始（～8月24日）
27	日	
28	月	ステップアップ教室（午前中）
29	火	
30	水	
31	木	

7月の帰宅時刻 18:00

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

令和7年度 真龍小学校大運動会

6月7日（土）、晴天のもと運動会が開催されました。今年度のテーマは「一生懸命～勝ち負け関係なく 楽しい運動会～」です。このテーマのもと、子どもたちは競技に真剣に取り組みながらも、仲間と声をかけ合い、笑顔あふれる一日を過ごしていました。

これまでの練習の成果をしっかりと発揮し、どの学年も見応えのある演技や競技を披露してくれました。徒競走や団体種目、応援合戦など、それぞれの場面で「一生懸命」な姿がたくさん見られ、会場全体が温かい雰囲気に包まれていました。



大きな怪我や事故もなく、無事に運動会を終えることができたことを大変うれしく思います。また、PTA ボランティア活動として、当日の後片付けにおいても多大なご協力をいただきました。暑い中、最後までご支援いただき、心より感謝申し上げます。朝早くからご参観いただいた保護者の皆様にも、改めて御礼申し上げます。

体力テスト DAY

6月19日と20日の2日間、全校児童を対象に体力テストを実施しました。種目は50m走、反復横跳び、握力、シャトルラン、ソフトボール投げなどで、子どもたちは一生懸命取り組んでいました。実施にあたっては、事前に真龍中学校の体育科の先生が来校し、測定のポイントや体の使い方などを丁寧に教えてくださいました。中学校との連携の中で、子どもたちはより意欲的に取り組むことができたようです。また、当日は多くの保護者の皆様にも測定補助としてご協力いただき、円滑に体力テストを進めることができました。ご多用の中、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

熱中症対策について

6月も終わり暑い日が増えてきました。本校では児童の健康を守るため、毎日「暑さ指数（WBGT）」を測定し、活動内容を調整するなどの対策を行っています。また、水筒や冷却グッズの持参も可能ですので、登校時にはぜひご準備ください。今後も熱中症予防に努め、安全で快適な学校生活を送れるよう取り組んでまいります。

厚岸音頭市中大パレードに向けて

7月4日（金）に開催される第69回厚岸港まつりの厚岸音頭市中大パレードに、本校の3年生から6年生までが参加します。当日は、町から支給された法被を身にまとい、厚岸音頭を踊りながら、一条通を練り歩きます。

本番に向けて、地域の方を講師にお迎えし、厚岸音頭の練習を行いました。複雑な振り付けに戸惑う様子も見られましたが、講師の先生方の丁寧で温かいご指導により、子どもたちは日を追うごとに上達していきました。3年生では、総合的な学習の時間を活用し、講師の先生方にインタビューを行いました。音頭の歴史や思いを直接聞くことで、踊りへの理解と関心がさらに深まったようです。講師の方からは、「鋭い質問もあり、感心しました。学ぶ意欲が高いですね」とのお言葉をいただきました。3年生から6年生までの児童が車道いっぱいに広がって隊列を組み、地域の皆さんと一緒に心をつなげて踊る姿は壮観です。パレードは15:00頃開始、15:45頃終了予定です（雨天中止）。お時間がありましたら、ぜひ沿道で、子どもたちの元気な踊りをご覧ください。

いじめアンケートの結果から

5月にいじめアンケートを行いました。「あなたは、4月から今日までに嫌な思いをしたことがありますか」の質問に

「嫌な思いをしたことがある」→24人(昨年同時期32人)

冷やかしかからかい、悪口をいわれる	14
仲間はずれや無視をされる	4
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする	6
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	1
お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたり	0
恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	0
メールや無料通話アプリ（SNS等）で悪口を書かれたり、仲間はずれにされたりする	0

というものでした。

この結果を受け、「嫌な思い」をした児童と担任が面談をしました。その際に、「あなたはどうしたいか？」「どうなるといいの？」などのように、一人一人の思いや、願いを尊重しながら聞き取りを行いました。担任が聞き取ったことをもとに、学校ではいじめ対策委員会を実施し、情報を共有すると共に、個々の事例に対してどう対処するかを協議しています。また、同時期に行われているQ-Uアンケートの結果とも関連付けて、一人一人の児童が学級でどのような状況にあるのかについても話し合い、全ての子どもが安心して登校できる学校を目指した取り組みを進めています。

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『大人も知らないみのまわりの謎大全』

ネルノダイスキ/著（ダイヤモンド社）

真龍おはなし隊 運上 亜沙美

「線路にしいてある石は何のため？どこから持ってきている？」
「鳥はなぜ、電線で感電しないの？」
「アスファルトの下はどうなっているの？そもそもアスファルトって何でできているの？」

大人も説明できないみのまわりの謎、大解決！
知らなくても大人にはなれる。けれど知ると世界がもっとおもしろく見える！

イラストメインで説明されているので、低学年から楽しめます。大人が読んで「へ～そうだったのか！」がたくさん。ご家族でクイズを出し合ったり、物語ではないので時々手に取ってパラパラと開いたところだけ読むなど、気軽に楽しめます。

ここで突然私からの問題！
Q.ピルの入り口によくついている「定礎」と書かれたプレート、外すと中には・・・？

みなさん、わかりましたか？ぜひ、お子さんと一緒に調べてみてください。

そして、この本でみなさんの世界がおもしろくなりますように。

